

2015年9月18日(金曜日)

日 刊



第1717号 電波新聞社
 東京本社
 東京都品川區東五反田1-11
 〒141-8715
 ☎03(3445)6111(大代20)
 大阪本社
 大阪府中央区北船場3-2-25
 (大阪証券取引所ビル6階) 〒541-0041
 ☎06(6203)3361(大代20)
 西 部 本 社
 福岡市博多区博多駅前2-13
 〒812-0011
 ☎092(4317)4111(大代20)

 ©電波新聞社 2006

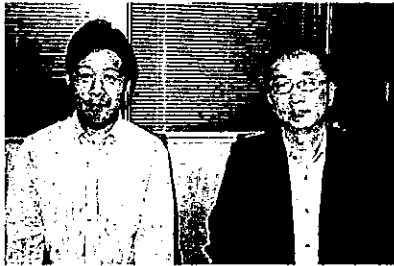
はんだ製品製造販売と、現地市場に密着 テクニカルサービス

千住(マレーシア)

千住金属工業

千住金属工業はマレーシア製造販売法人「千住(マレーシア)」(セラ(マレーシア))をハブに、ASEAN地域で現地市場に密着した製造販売お

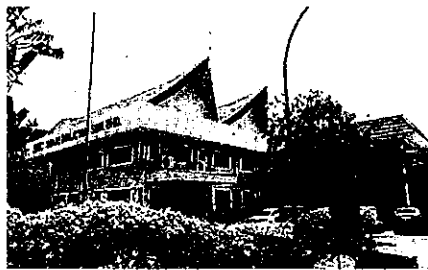
シア製造販売法人「千住(マレーシア)」(セラ(マレーシア))をハブに、ASEAN地域で現地市場に密着した製造販売お



清水GM(左)と坪野ディレクター

同社グループは、ASEAN事業体制のさらなる強化に努めている。千住(マレーシア)の営業を統括する清水慶太郎GMは「最近の業界は『チャイナナナ』でASEAN見直しが進み、ASEAN自体も経済発展に伴う中間層拡大で市場性が注目されている。今後も現地顧客への販売・サービスを充実させていく」と話す。マレーシア販売拠点は同法人本社のほか、ペナン、ジョホールにもオフィスを開設し、日本人が常駐する。はんだ付け装置事業は、93年にははんだ付け装置のメンテナンスやセッ

外観



千住(マレーシア)の二入りはんだ、ソルダペースト、フラックスなどでスタンダード品は大半が生産可能。顧客は一般家電関係や電子部品、自動車関係などが中心。顧客要求に合わせ、低価格な低銀はんだや、銀なしはんだ(Sn-Cuはんだ)から車載向け高信頼性製品まで柔軟な提案を行う。「日本で開発された戦略製品をいち早く生産化し、顧客への的確な提案に努める」(坪野浩治「ディレクター」)。営業面では、販売代理店などと連携しながら新規顧客開拓にも注力している。CSR活動では紛争鉱物対応にしっかりと取り組むとともに、生物多様性保全として今年度から植林活動を開始する。